



さくらんぼだよ

3月号

平成30年3月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリー保育園

仲間と共に育ちあった心のねっこ
～こどもたちへ、ありがとう！の気持ちを込めて～

春浅く、まだ風は冷たいものの、園庭の梅の蕾は少～しふっくらしてきました。また、昨秋、おじいちゃん、おばあちゃんたちと植えた、ヒヤシンスやチューリップの球根からは、小さな芽が出て、暖かい春の日差しを待っているようです。

いつのまにか大きくなって、いつのまにか泣かなくなって、いつのまにかいろんなことができるようになってきた子どもたち。日々大きくなっていくのは当たり前ですが、おとうさん、おかあさんとの繋がりの中で、心の根っこが強くなり、仲間と共に過ごす中で、より強く成長していると感じます。今私たちは穏やかな日々の中で過ごし、子どもの成長も当たり前としてしまっていますが、やはりこの時期になると、7年前の大震災を思い出してしまいます。“生きている” “生かしてもらっている”ということ、当たり前とすることなく、1日1日をもっと大事に過ごさなければと改めて考えさせられています。

3月24日(土)、スイミー組20名の子ども達が、元気に西多賀チェリー保育園を巣立ちます。保育園で毎日友だちと長時間過ごす中で、様々な力をつけてきた子ども達。自分の思いだけではどうにもならないことを知り、悔しい思いをしながらも、我慢することを覚えたり、発達がゆっくりな友だちには、やさしく手を差し伸べ、気持ちをくみ取ってあげたり、励ましてあげたり、とてもやさしい気持ちが育ちました。

故ダンブ園長がチェリー保育園の子ども達へと最後の力を振り絞って作ってくれた“ぶちゴマ”…。その思いを受け止めるかのように子ども達は荒馬や和太鼓に取り組んできました。そして、お互いの存在を感じ、認めあい、仲間と力を合わせて一つのことを成し遂げていく大切さ、諦めず最後までやり遂げる力を培ってきました。そして、子ども達は、心身共に大きく大きく成長をしてきました。

地域の方々に、そして、仕事で忙しい日々の中でも、おとうさん、おかあさん達にしっかり見守られ、愛情をいっぱいかけられてきた賜物だと思います。お迎えがどんなに遅くても子ども達は、頑張っておとうさん、おかあさんの帰りを待ちました。そんな子ども達に“ありがとう”の感謝の気持ちを伝えたいと思います。そして、保育園生活を支えてくれたおじいちゃん、おばあちゃん、おとうさん、おかあさん達に感謝したいと思います。

2018・3・1

<園長 中館和子>

お知らせ



<卒園式のお知らせ>

月日 3月24日(土) 集合 8:45 開始 9:30
場所 西多賀チェリー保育園 2階ホール

* スイミー組さん、はらぺこあおむし組さんは親子で参加して下さいますよう、よろしく願い致します。

<一年生になるお祝い会>

月日 3月9日(金) 時間 9:45 ~ 12:00
場所 西多賀チェリー保育園 2階ホール

* スイミー組さんが一年生になるお祝い会をします。おじいちゃん、おばあちゃんをお迎えして、みんなでお祝いしたいと思います。当日は、バイキング形式での食事となります。好きなものをたくさん食べてください。



<入園・進級式のお知らせ>

新しいお友達26名を迎え、入園・進級式を行います。

4月7日(土) 集合時間 8:45 開始 9:00

* 式終了後、保護者の会総会、クラス懇談会があります。

おねがい

<延長保育利用の方へ>

新年度、延長保育を利用される方は、新たに申し込みが必要になります。利用予定の方は、年度内に申し込みをして下さい。

行事予定

3月		
日	曜日	行事
2	金	ひなまつり会
6	火	発育測定
9	金	一年生になるお祝い会
10	土	新入園児説明会・避難訓練
20	火	誕生会
24	土	卒園式
27	火	修了式



新年度入園・進級式

平成30年4月7日(土)

午前9:00～

集合時間 8:45
当日は保護者の会総会もあります。
終了予定は11:30です。
クラスにより終了時間が異なりますが、ご了承下さい。



先日まで、冬季オリンピックが行われていて、多くの方が見ていたかと思います。私の家でも、ず～っとオリンピックの番組が流れていました。私自身は忙しさのあまり、見るでもなく、聞くでもなく、時折、テレビに顔を向ける程度でいました。

そんな時、カーリングの女子チームが掛け合う“そだね～”の言葉が話題となっていることを知り、どんな時に声を掛け合っているのか、興味津々となりました。そこで、ルールはなんだかわからないものの、カーリングの試合を見ていました。すると・・・、“そだね～”の言葉が！どうやら、作戦会議のような場面で、メンバーの話にうなずく格好で“そだね～”が発せられているようでした。もぐもぐタイムなども映しだされていましたが、なんだか心がホッとするような感じがしました。

この“そだね～”、今、我が家ではブームとなり、何かにつけ“そだね～”が出てきます。

先日は、じーじのお酒のコップを倒してしまった孫、そんなところに置いておく方が悪いよ、という私の言葉に即、便乗し“そだね～”と言って笑いを取っていましたが、その後には、“ごめんなさい”まで素直に言っていました。

“そだね～”・・・この一言は、「相手を認めて受け止める」言葉のように思います。と同時に、緊張や、不安を解消し、素直な気持ちにしてくれるような不思議な力があることを感じました。

一人一人まったく違った環境の中で生まれ育ってきているので、感性はもちろん考え方なども違って当たり前のはず・・・

子どもといえども自分なりの考えや思いがあるはず・・・。どんな時にでも相手の気持ちや思いを聞いていくこと、そして、認めることの大切さをこの“そだね～”は教えてくれているように思いました。

日々忙しければ忙しいほど、相手の事を考えることを忘れがちになり、自分のペースで事を進めがちになることも多くあるかと思いますが、“そだね～”で、ちょっと肩の荷を下ろしてみませんか。



母と子の絵本棚



「しろいうさぎとくろいうさぎ」

出版社：福音館

ガス・ウィリアムス 文 絵 / まつおか きょうこ 訳
いつも仲良しのしろいうさぎと、くろいうさぎ。時折悲しげな表情をするくろいうさぎに、どうしたのか尋ねるしろいうさぎ・・・。
愛することの幸せ感、切なさが心にしみじみ伝わってきます。絵がとてもしゃんと、ほんわりあったか～い気持ちになります。ぜひ、読んでみてください。



「たんぽぽ」 出版社：福音館

ひらやま かずこ・さく たきだいら じろう・え
道端に何気なく咲いている、そして誰もが知っている「たんぽぽ」。でも、その生態は意外と知られていないのでは？ ページをめくるたびにへーっ、そうだったのか～！と、たんぽぽの不思議さやたくましさや圧倒されたり驚いたり・・・。きっとこれから咲いたたんぽぽを見つけたときの子どもの目の観察が違って来るかもしれませんよ。

子どものおやつあれこれ

おやつ・・・それは、子どもにとっても大人にとっても楽しいひと時ですね。でも、子どもにとってのおやつは、大人とはちょっと意味が違うものようです。子どものおやつは「第4の食事」と言われています。幼児は、胃が小さいので一日3回の食事では、必要な栄養を取り切れないため、栄養を補うための「捕食」が必要になります。それが子どもにとっての「おやつ」。大人の感覚とはだいぶ違いますね。でも、子どもだってたまにはお楽しみがあってもいいのでは？ただ、だらだら食いは食事のしっかり摂れなくなったり、虫歯にもつながってしまうので、ある程度の時間、与える量などを決めておくことが大切になってきますね。時には、夕飯前に“お腹空いた～”と言われるときもあるかもしれませんが、ちょっと知恵を働かせて、主食のご飯を小さなおにぎりなどにしてあげるのも一つの方法かもしれませんね。



わらべうたであそぼう

ねずみねずみ



1 ねずみねずみ どこいきや
子どもの手首から肘に向かって、人差し指と中指の2本でテクテク歩く。



3 ねずみねずみ どこいきや
肘から上腕に向かって、テクテク登る。



2 わがすへ チュツチュクチュ
テクテク登って、肘に到着。



4 わがすへ
肩の近くまできたら、少し止まって、腕をあげる。

5 とびごんだ
ねずみのように勢いよく、脇の下にとびこんでコチヨコチヨくすぐる。

